

一般質問

松本議員

原発事故に対する避難計画について

Q 質問

福島原発事故の終息も見られない中で、いまだに政府は原発関連企業の手先となり、原発再稼働を目指している。勝山市は30km圏内で無いため大丈夫だと考えるのはあまりにのんきな考えであり、30km圏内の避難民を受け入れるなどは考えられない話である。まず勝山市民の避難計画を立てることが市の責任と考えるが如何か。

A 答弁

現段階では、国、県、そして勝山市の防災計画に基づいた避難計画を順守することを基本とし、今後、福井地裁の判決に基づき国が安全性などについて科学的に検証され、国や県の防災計画が改正されれば、勝山市の防災計画についても連動して改正を行い原子力災害から市民の安全・安心を確保したいと考える。

その他の質問
市内誘客パンフレットについて
市内の空き家対策について

ることなく、自然な健康管理の方法を勝山市民に伝え、実践してもらうことが、勝山市の医療費削減にもつながるのではないかと。

A 答弁

生活習慣を改善するために、市では特定保健指導の実施、ヘルシーランチ教室、すこやか健康講座などの健康教室を行い、公民館や「すこやか」を会場に健康相談を実施している。健康な食生活を実践し、日ごろからかかりつけ医に健康管理について相談することや健診結果で受診を勧められた場合は、早期に適正な治療を受けることが、勝山市の医療費削減につながると考えている。

また市民交流センターの入浴施設を高齢者の健康づくりの拠点として「健康の駅」と位置付け、看護師を配置し健康チェックや健康相談の実施を予定しているため、市民の皆さまには積極的に活用していただきたいと考えている。

市民の健康管理について

Q 質問

健康診断での血圧やコレステロールなどの数値を必要以上に気にする人が多い。薬には必ず副作用というものがああり、製薬メーカーの営業戦略に巻き込まれ



山田議員

医療の充実を、雇用と経済に結びつける対策

Q 質問

勝山市で20歳から39歳の女性人口が半減するとの試算が示された。人口減少対策が必要。

①地域外への患者流出が40%にもなっているが、通常分娩や回復期医療などで福井勝山総合病院が役割を果たせば、雇用が増え、医療費も地域に還流する。市の医療計画と病院の地域協議会で、雇用拡大を重点課題にして取り組むことが必要。

②看護師不足の原因と考えられる安定雇用への不安や、臨時雇用の条件悪化を改善するように病院に要請し、市としても常勤雇用への支援を検討すべき。

A 答弁

①福井勝山総合病院を核として、真の地域医療体制を構築することに何の異論もなく勝山市、そして奥越健康福祉センターが設置している奥越地域医療連携体制協議会などで前向きな議論を深めていく。そして情報発信をする中で、市民の皆さんとともに奥越の中核病院である福井勝山総合病院を支え、育てていく機運を高めていきたいと考えている。

その他の質問
深刻な人口減少の警告に対し、勝山市が取り組むべき課題について
市内でメガソーラー発電を推進することについて ほか

②地域医療全般として地方自治体だけでは構築しきれない制度やシステムの改正などについては全国共通の課題であることから、全国市長会などを通じ、超高齢社会に即応した国・県の役割と財政負担を求めていきたい。

地域の雇用と経済に打撃となる農協改革

Q 質問

全国農業中央会を解体して、単位農協から信用・共済事業を取り上げたらJAテラル越前は収益事業の柱を失い職員が大リストラされる。地域の雇用と経済を守るために勝山市として反対の声を上げるべき。

A 答弁

勝山市としては、農協改革の内容をしっかりと把握し、奥越の農業農村さらには地域経済の活性化を図るため、JAテラル越前大野市等と連携し、国等に働きかけていく。



福井勝山総合病院